

## 取扱説明書

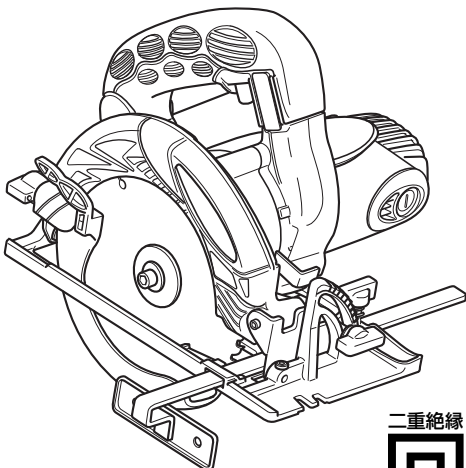
### 用途

- 各種木材の切断
- 各種化粧板、薄物樹脂板、軟質新建材の切断

## ブレーキ付 丸のこ

### FC 5MA [チップソー付]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
丸のこの使用上のご注意	4
各部のなまえ	7

はじめに

ご使用前の準備	7
ご使用前の点検	9

準備

直角に切断する	11
傾斜切断する	13
のこ刃の取りはずし・取付け	15

使い方

点検・お手入れする	17
別売部品の紹介	19
故障かな…というときは	20
仕様	21
ご修理のときは	裏表紙

その他

## **⚠警告**、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## 電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### **⚠警告**

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
  - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
  - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
  - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。  
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
  - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

## 警告

- ⑥ 無理して使用しないでください。
  - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
  - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
  - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
  - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
  - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
  - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
  - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
  - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。

## ⚠ 警告

- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑪ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑫ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑬ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - 常識を働かせてください。
  - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑭ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
  - スイッチが故障した場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作ができなくなった電動工具は、使用しないでください。
- ⑮ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ⑯ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

# 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

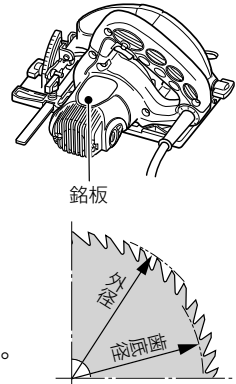
お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に回マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違えて組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

## 丸のこの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、丸のことして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

### ⚠ 警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
  - この刃が露出していると、けがの原因になります。
- ③ このこ刃は、銘板に表示してある範囲内のこのこ刃を使用してください。また、歯底径が下記の値以下のこのこ刃は使用しないでください。
  - 保護カバーの覆いが不完全となり、けがの原因になります。使用できるこのこ刃は、外径 140～145 mm です。また、このこ刃は、歯底径が 116 mm 以下は、使用しないでください。
- ④ 切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。
  - 台が不安定であると、けがの原因になります。
- ⑤ 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでのこのこ刃がはさみつけれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
  - このこ刃がはさみつけれられると、けがの原因になります。
- ⑥ 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がこのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、このこ刃の出しろの 3 倍以上にしてください。
  - このような台がないと、けがの原因になります。(8 ページの図を参照してください。)



## ⚠警告

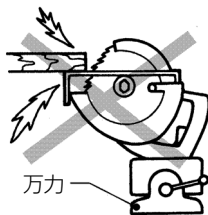
- ⑦ 使用中は、本体を確実に保持してください。
  - 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
- ⑧ 使用中は、のこ刃や回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。
  - けがの原因になります。
- ⑨ 切断途中で、のこ刃を回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。
  - 回転させたまま本体を戻したり、持ち上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑩ ベンチスタンドを使用する場合は、スタンドを固定してください。また、接触予防装置を必ず取付けてください。
  - ベンチスタンドがぐらついたり、接触予防装置がないと、けがの原因になります。
- ⑪ 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
  - そのまま使用すると、けがの原因になります。
- ⑫ 誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## ⚠注意

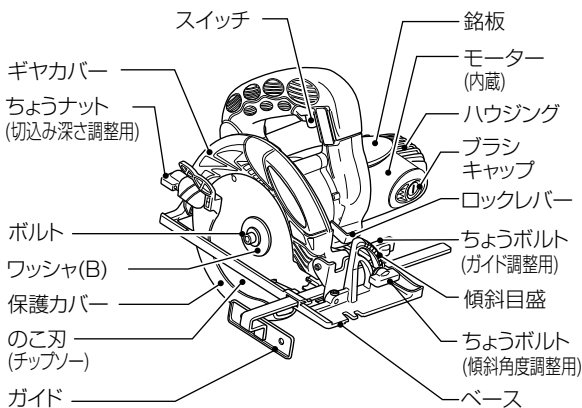
- ① 刃物類（のこ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - 確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② のこ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
  - のこ刃が破損し、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ④ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、本体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
  - 異常があると、思わぬ動きをして、けがの原因になります。
- ⑤ ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
  - 本体を落としたりし、けがの原因になります。

## ⚠注意

- ⑥ 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
  - 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑦ 材料に釘などの異物が付いていないことを確認してください。
  - 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑧ 切断しようとする材料の上に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
  - 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
- ⑨ 回転するのこ刃で、コードを切断しないよう注意してください。
  - 感電の恐れがあります。
- ⑩ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
  - 不意の接触などで、けがの原因になります。
- ⑪ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
  - 材料や本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑫ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - けがの原因になります。

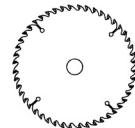


# 各部のなまえ



## 付属品

チップソー 1枚



外径	チップ幅	のこ身 厚さ	歯数
145mm	1.6mm	1mm	40枚

六角棒スパナ (5mm) 1個



ガイド 1個



# ご使用前の準備

● 作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

● 漏電しゃ断器の設置をおすすめします

万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

● 延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

**警告**

延長コードは損傷のないものを用意してください。

コードの太さ (mm <sup>2</sup> ) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

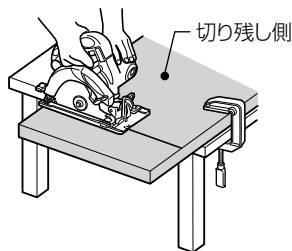


## ●作業台を用意します

のこ刃が材料の下面より出ますので、作業台の上に置いて材料を切断します。

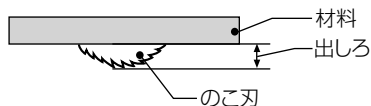
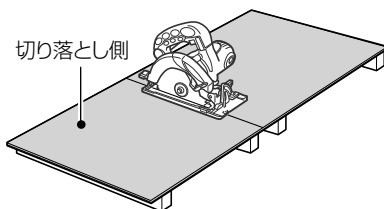
### ⚠警告

- 切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。  
台が不安定であると、けがの原因になります。
- 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。  
のこ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
- 材料の切り残り側を、しっかり押さえてください。
- バイスで固定するなどしてしっかり押さえれば、両手で作業することができます。



### ⚠警告

- 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台又は角材を設けてください。
- 角材などを利用する場合は、地面の平らなところを選び、角材を固定してください。
- 切り落とした材料がのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。  
このような台がないと、けがの原因になります。



# ご使用前の点検

## ⚠ 警告

- 使用前に次のことを確認してください。手順①、②、④～⑥については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

- 注**
- 切断トイシは使用できません。
  - 木材以外を切断すると、ベース面に傷が付きやすくなります。

## ① スイッチが切れていることを確かめます

- スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。スイッチは引くと入り、はなすと切れます。

## ② 電源を確かめます

- お求めの丸のこは 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、モーターの回転が異常に速くなり、破損するおそれがあります。また、直流電源で使用しないでください。丸のこの損傷をまねくだけでなく危険です。

## ③ コンセントを確かめます

- コンセントがガタついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

### ○騒音防止規制について

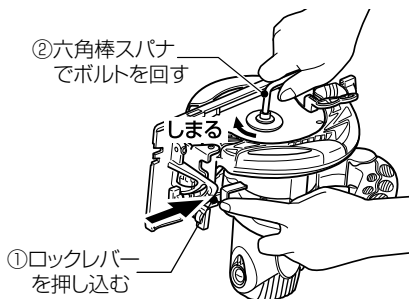
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

## ⚠ 警告

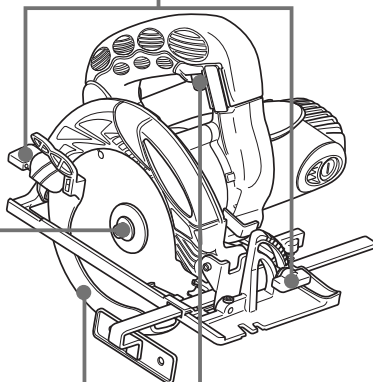
- のこ刃の締付けボルト、切込み調整用ちょうナット、傾斜調整用ちょうボルト等がゆるんでいると、けがの原因になります。

## 4 のこ刃の締付けを確かめます

- ロックレバーを押し込みながら、付属の六角棒スパナでボルトを時計方向に回すと、のこ刃の回転が止まる位置があります。その状態のまま締付けます。



## 5 切込み深さ調整用ちょうナット、傾斜角度調整用ちょうボルトの締付けを確かめます



- 注** のこ刃を締付けた後、ロックレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。

## 6 保護カバーの動きを確かめます

- 保護カバーは、身体がのこ刃に触れるのを防ぐものです。
- 必ずのこ刃をおおうように円滑に動くことを確認してください。

## 7 ブレーキがかかることを確かめます

- この本体はスイッチを切ると同時に、のこ刃の回転にブレーキがかかる構造になっています。
- ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。

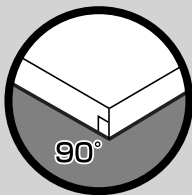
## ⚠ 警告

- 保護カバーは、絶対に固定しないでください  
のこ刃が露出していると、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

- ブレーキが働くときの反発力に注意してください。  
本体を落としたりし、けがの原因になります。

- 注** ④ ロックレバーが元の位置に戻らない場合、⑥ 保護カバーが円滑に動かない場合、⑦ ブレーキが正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



# 直角に切断する

切断面を直角に切断します。

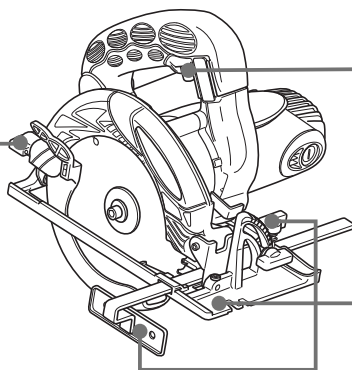
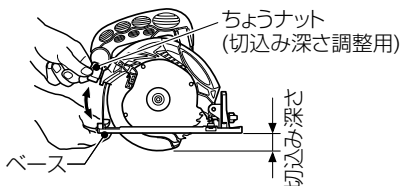
## ⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、①～③はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて調整してください。
- ①、②は調整後、ちょうナット、ちょうボルトを十分に締付けてください。ゆるんでいると、けがの原因になります。
- 保護メガネを使用してください。

# 1

## 切断する材料の厚みに応じて切込み深さを調整します

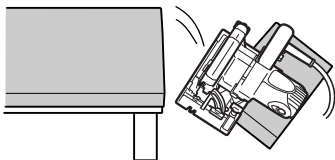
- ちょうナット（切込み深さ調整用）をゆるめ、ベースを上下させて調整し、ちょうナットを固く締付けます。



- 注** • 切断を始める前に、ベース面との刃が直角になっている事を確認してください。（P.14 直角度の微調整参照）

## ⚠ 警告

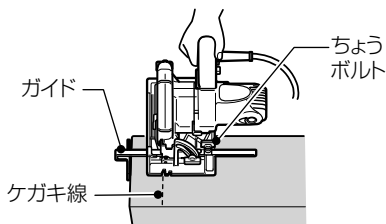
- 材料の切り落とし側を、丸のこの進行方向に対し右側になるようにしてください。左側になると切り落とし時、材料と共に丸のこが落下し、けがの原因になります。



# 2

## 材料端面と平行に切るときは付属のガイドを使用します

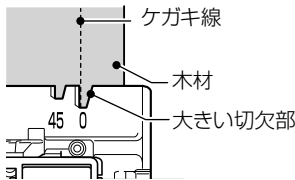
- ちょうボルト（ガイド調整用）をゆるめ、ガイドを上記イラストと同じ向きにさし込み、左右に動かして切断位置を調整します。



### 3

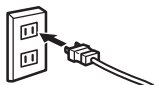
#### ケガキ線に合わせます

- 材料の上に本体（ベース）のをせ、ケガキ線にベース前部の切欠部を合わせます。大きい切欠部（0° 傾斜時使用）を目安にしてください。



### 4

#### 電源プラグをコンセントにさし込みます



#### ⚠注意

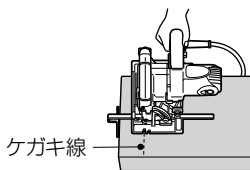
- 回転するのこ刃で、コードを切断しないよう注意してください。

**注** 切断を始める前に、のこ刃の回転が最高速になるようにしてください。

### 5

#### スイッチを入れ、ゆっくり前方に進めます

- のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、そのまま本体をゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにします。
- ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。



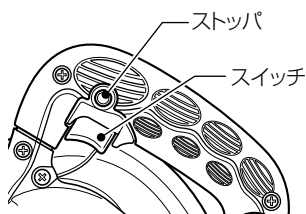
#### ⚠警告

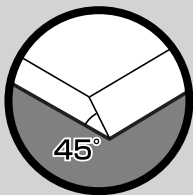
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用中に異常音や異常振動など本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。
- 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。
- 反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、のこ刃の寿命を短くします。
- のこ刃を上向き、横向きにした使用方はしないでください。けがの原因になります。

#### ●スイッチについて

##### 連続運転する場合

スイッチをいっぱい引いた状態でストッパを押すと連続運転になります。スイッチを切るときは、もう一度スイッチを引き、ストッパがはずれてから指をはなします。





# 傾斜切断する

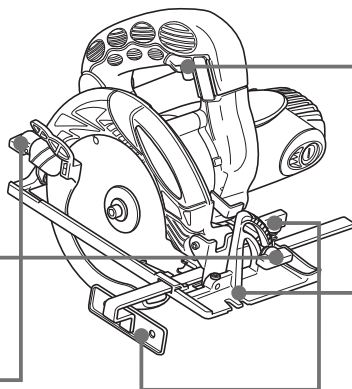
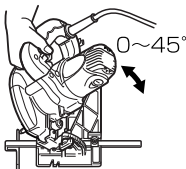
切断面を最大 45° まで傾斜切断できます。

## 警告

- 万一の事故を防止するため、①～④ はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて調整してください。
- ①～③ は調整後、ちょうネット、ちょうボルトを十分に締付けてください。ゆるんでいると、けがの原因になります。
- 保護メガネを使用してください。

## 1 傾斜角度を調整します

- ちょうボルト（傾斜角度調整用）をゆるめ、傾斜角度を調整します。のこ刃をベースに対して、最大 45° まで傾けることができます。
- ちょうボルト締付け部に 5° 刻みの傾斜目盛が付いています。正確な角度で切断したい場合はベースとのこ刃の角度を定規で測定してください。

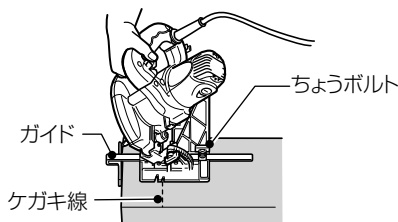


## 2 切込み深さを調整します

- 傾斜すると切込み深さが浅くなりますので、切断する材料の厚みを確認して切込み深さを調整してください。
- ちょうネット（切込み深さ調整用）をゆるめ、ベースを上下させて調整し、ちょうネットを固く締付けます。（P.11 の①参照）

## 3 材料端面と平行に切るときは付属のガイドを使用します

- ちょうボルト（ガイド調整用）をゆるめ、ガイドを上記イラストと同じ向きにさし込み、左右に動かして切断位置を調整します。



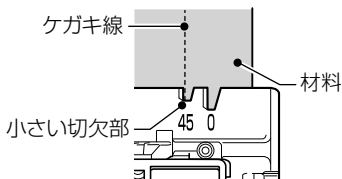
## 警告

- 材料の切り落とし側を、丸のこの進行方向に対し右側になるようにしてください。左側になると切り落とし時、材料と共に丸のこが落下し、けがの原因になります。

# 4

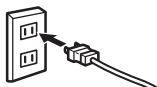
## ケガキ線に合わせます

- 45° 傾斜するとき、材料の上に本体（ベース）をのせ、ケガキ線にベース前部の小さい切欠部を目安に合わせます。



# 5

## 電源プラグをコンセントにさし込みます



## ⚠️ 注意

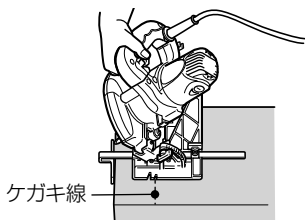
- 回転するのこ刃で、コードを切断しないよう注意してください。

**注** 切断を始める前に、のこ刃の回転が最高速になるようにしてください。

# 6

## スイッチを入れ、ゆっくり前方に進めます

- のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、そのまま本体をゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにします。
- ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。



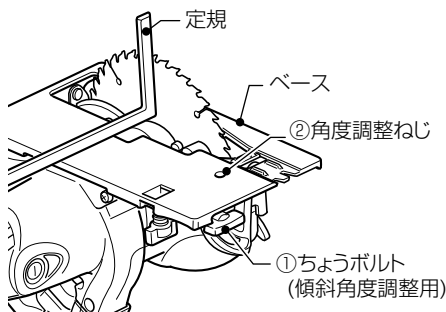
## ⚠️ 警告

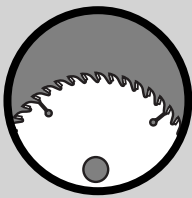
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用中に異常音や異常振動など本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。
- 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、のこ刃の寿命を短くします。
- のこ刃を上向き、横向きにした使用方はしないでください。けがの原因になります。

## ● 直角度の微調整について

直角度（ベースとのこ刃の角度）は、工場出荷の際に調整してありますが、角度が狂っていた場合は調整してください。

- ① ちょうボルト（傾斜角度調整用）をゆるめ、ベース底面とのこ刃に定規を当てて直角度を出し、ちょうボルトを軽く締めます。
- ② 角度調整ねじの先端がベースの金属製部品に当たるまで、六角棒スパナ（3 mm）で角度調整ねじを回し、ちょうボルトをしっかりと締付けます。





# のこ刃の取りはずし・取付け

切れ味の悪くなったのこ刃を取りはずし、新しいのこ刃を取付けます。

## ⚠ 警告

- のこ刃の取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
思わぬ事故の原因になります。
- のこ刃の取りはずし・取付けの際は、安定した台や床の上で行ってください

## ● のこ刃の取りはずし

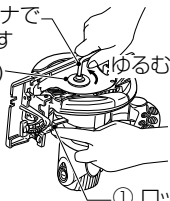
### 1 ちょうナット（切込み深さ調整用）をゆるめ、切込み深さを最大にします

（P.11の①参照）

### 2 のこ刃軸を固定します

- ロックレバーを押し込みながら、付属の六角棒スパナでボルトを反時計方向に回すと、のこ刃の回転が止まる位置があります。この状態でのこ刃軸が固定されます。

- ② 六角棒スパナでボルトを回す  
ワッシャ(B)



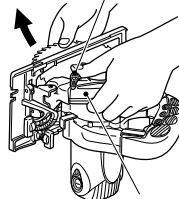
① ロックレバーを押し込む

### 3 六角棒スパナを反時計方向に回し、ボルトとワッシャ(B)をはずします

### 4 のこ刃を取り出します

- 保護カバーのつまみを持って、保護カバーをギヤカバーの中に引き込み、のこ刃を取り出します。

保護カバーのつまみ



ギヤカバー



## ● のこ刃の取付け

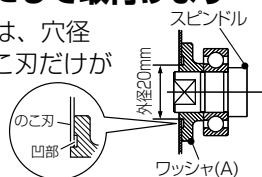
### 1 ちょうナット（切込み深さ調整用）をゆるめ、切込み深さを最大にします

（P.11の①参照）

- スピンドルや、ワッシャ(A)、ワッシャ(B)に付いている切りくずをよくふき取ってください。

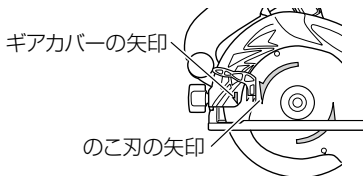
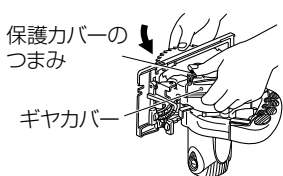
### 2 ワッシャ(A)の凹部をのこ刃側にして取付けます

- ワッシャ(A)は、穴径20mmののこ刃だけが取付けできるようになっています。

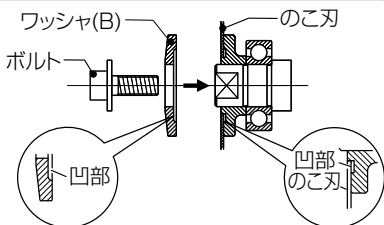


### 3 のこ刃を取付けます

- 保護カバーのつまみを持って、保護カバーをギヤカバーの中に引き込み、のこ刃の矢印がギヤカバーの矢印方向と一致するようにのこ刃を取付けます。



### 4 ワッシャ(B)の凹部をのこ刃側にして取付け、ロックレバーを押し込みのこ刃軸を固定して、六角棒スパナでボルトを時計方向に十分に締付けます（P.10の④参照）



### 5 切込み深さを調整し、ちょうナット（切込み深さ調整用）を締付けます（P.11の①参照）

## ⚠ 警告

- ボルトの着脱は付属の六角棒スパナで作業してください。付属以外の工具を使用すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

- 注**
- ワッシャ(A)の取付け方向を誤ると、のこ刃を取付けることができません。
  - ワッシャ(A)、ワッシャ(B)は必ず本体に取付けてあるものを使用してください。
  - のこ刃を締付けた後、ロックレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。

# 点検・お手入れする

## ⚠ 警告

- 点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ● のこ刃の点検

- 切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。新品と交換してください。

## ⚠ 警告

- 切れ味の悪くなったのこ刃はそのまま使用しないでください。無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

## ● 機体の点検

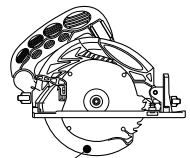
各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

## ● 本体はきれいに

- 石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

## ● 保護カバーの動作点検と保守

- 保護カバーは、いつも円滑に動作するようにしてください。なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。



保護カバー

### 注 保管場所について

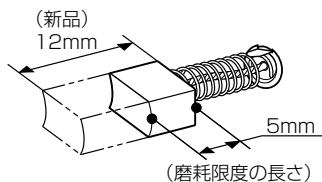
次の場所には保管しないでください

- お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
- 直射日光の当たる所。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある所。

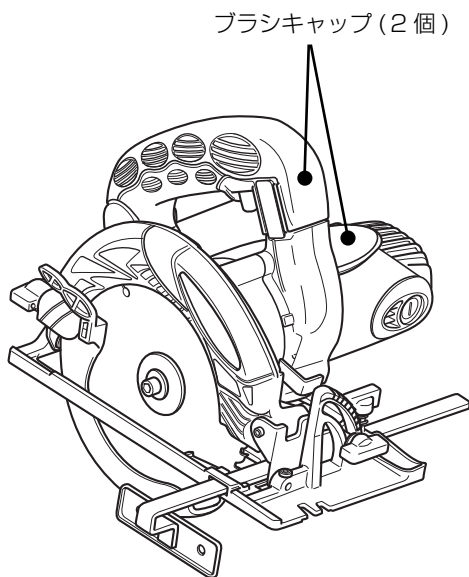
## ●カーボンブラシの点検

- カーボンブラシは消耗品です。長さが摩耗限度(5mm)になりましたら、新品と交換してください。カーボンブラシは必ず2個同時に交換してください。

**注** ●新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。指定外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。

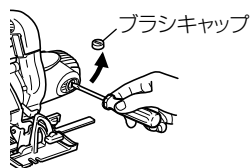


## ●カーボンブラシの交換方法

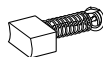


### 1 ブラシキャップをはずします

- マイナスドライバーなどでブラシキャップを反時計方向に回してはずします。



### 2 カーボンブラシを取り出します



### 3 新しいカーボンブラシを取付けます

- ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。

### 4 ブラシキャップを取付けます

- ブラシキャップでカーボンブラシを押し込みながらマイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

# 別売部品の紹介

## 警告

- 別売部品を使用の際も保護メガネを使用してください。

### のこ刃

のこ刃やチップソーにつきましては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

# 故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

症 状	考えられる原因	処 置
動かない	・電源プラグがさし込まれていない。	・電源プラグをコンセントにさし込んでください。
	・カーボンブラシの長さが摩耗限度を超えている。	・新しいカーボンブラシと交換してください。 (P.18 参照)
切断が上手にできない	・のこ刃の刃が古くなっている。	・新しいのこ刃と交換してください。 (P.15 参照)
直角に切断できない	・ちょうナット、ちょうボルトがゆるんでいる。	・ちょうナット、ちょうボルトを締めてください。 (P.10 参照)
	・傾斜角度が合っていない。	・直角度を確認してください。 (P.14 参照)
保護カバーの動きが悪い	・しゅう動部に異物、切りくず等がはさまれている。	・異物等を取り除いてください。

# 仕 様

形 名	FC 5MA
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
最大切込み深さ	46 mm
の こ 刃 寸 法	外径 145 × 穴径 20 (mm) (外径 140 ~ 145 mm の のこ刃も使用可能)
無 負 荷 回 転 数	5,100 min <sup>-1</sup> {回 / 分}
全 負 荷 電 流	8.4 A
消 費 電 力	800 W
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
質 量	2.2 kg (コードを除く)
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 2.5 m



# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ  
お問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理  
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)		

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル



**0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、  
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点  
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認  
いただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>